



周南公立大学

SHUNAN UNIVERSITY

プレスリリース

〒745-8566

山口県周南市学園台 843-4-2

TEL 0834-28-0411 (代)

FAX 0834-28-8790

令和8年8月31日発信

報道関係 各位

周南公立大学が株式会社トクヤマの男子陸上長距離選手をサポート ～スポーツ健康科学の専門性を生かし、コンディション管理に関する実践研究を実施～

周南公立大学人間健康科学部スポーツ健康科学科の松生香里教授は、株式会社トクヤマに所属する男子陸上長距離選手を対象に競技活動におけるコンディション管理を支援する取り組みを行っています。

本取り組みは、株式会社トクヤマの関係者による本学訪問をきっかけに、同社のアスリート支援と本学が有するスポーツ健康科学の専門性が結びついたことから始まったものです。

株式会社トクヤマでは、社員が自主的・自発的に組織の枠を超えて新たな価値の創出に挑戦する「とくちやれ(Tokuyama Challenge)」を推進しており、その一環として、男子陸上長距離選手の活動を支援し、ニューイヤー駅伝出場を目指すプロジェクトを展開しています。

こうした選手の競技活動を、大学の専門的な知見から支援するため、2025年7月から松生先生によるサポート活動が始まりました。

つきましては、9月8日(火)のサポートを公開取材日といたしますので、ぜひご取材くださいますよう、よろしくお願いいたします。

【公開取材日】

日時:2026年9月8日(火)18:30～ ※雨天の場合は9/15(火)18:30～に延期

場所:周南公立大学総合グラウンド(周南市孝田町64-2) ※大学本館とは違う施設になります

内容:体重測定の後、タイム計測、環境温度の測定、給水・観察

■選手一人ひとりの身体状態を継続的に測定

サポートでは選手のコンディションや水分・電解質の状態を把握するため、練習前後の体重、体重減少量、体重減少率、発汗量、汗中のナトリウム(Na)・カリウム(K)・カルシウム(Ca)などのデータを測定しています。また、暑さの感じ方などについても確認し、練習時の身体的な変化を継続的に記録しています。

これらの取り組みは、単に選手へアドバイスをを行うだけでなく、実際の競技現場において身体データを収集・分析し、選手のコンディション管理に生かす実践的な研究活動として進めています。

■実業団選手を対象とした「実践研究」の場に

本取り組みの特徴は、大学の研究・教育資源を地域企業のアスリート支援に繋げている点にあります。

企業が選手の競技活動を支え、大学がスポーツ健康科学の専門的な知見を提供することで、実際の競技現場を研究・教育のフィールドとして活用することが可能となります。

今後は、こうした実践を通じて得られた知見を、学生アスリートや地域のスポーツ活動、さらには地域の健康づくりなどにも生かしていくことが期待されます。

■選手の競技活動と今後の展開

サポートを受けている選手たちは、各種大会にも出場しています。

2026 年 2 月の全日本実業団ハーフマラソン大会では、佐々木選手が 1 時間 06 分 16 秒、大谷選手が 1 時間 04 分 47 秒を記録し、ともに自己ベストを更新しました。

また、2026 年 5 月 3 日に開催された山口県陸上競技選手権大会 1500m では、大谷選手が 4 分 00 秒 12 で 1 位、佐々木選手が 4 分 01 秒 48 で 2 位となるなど、選手たちは競技活動を継続しています。

※これらの競技成績は、本学によるサポートの直接的な成果を示すものではなく、サポートを受ける選手の競技活動における実績として紹介しています。

周南公立大学では、今後も地域企業や競技団体等との連携を進め、本学が有するスポーツ健康科学の専門性を地域社会に還元するとともに、研究・教育・地域連携が相互に循環する取り組みを推進してまいります。

【取り組みの概要】

取り組み名称:株式会社トクヤマ男子陸上長距離選手へのコンディション管理サポート

開始時:2025 年 7 月から

担当:周南公立大学人間健康科学部スポーツ健康科学科 松生 香里 教授

主な対象:株式会社トクヤマ男子陸上長距離選手

主な測定項目:練習前後の体重、体重減少量・減少率、発汗量、汗中のナトリウム・カリウム等

主な目的:選手のコンディション把握、競技活動における健康管理、スポーツ健康科学に関する実践研究

【本件に関する問い合わせ】

周南公立大学経営企画部経営企画課 基金・広報係

TEL : 0834-28-6880 E-mail : koho@shunan-u.ac.jp